

「家庭科」（せいかつ）学習指導案

1. 日時 平成27年6月
2. 場所 教室
3. 学部・学年・組 中学部第1学年、第2学年、第3学年
4. 単元名 「夏野菜カレーをつくろう」

5. 単元目標

- ・手を使って作業を行う。
- ・土や草木などたくさん自然に触れる。
- ・自ら収穫した作物を調理し食べる。

6. 児童生徒観 略

7. 教材観

本単元では、自分たちで野菜を育てることにより、自然に触れる機会を増やし、土や生き物に親しみをもたせたいと考えている。そして、水やりなどの活動を通して、一生懸命世話をすることで、野菜が育つことを学ばせたい。さらに、大きく育った野菜を収穫させ、それを調理することで、収穫の喜びや、労働の大切さも学ばせたいと考えている。本時の活動では、自分たちの畑を意識できるよう畑の看板作りを行うことにした。自分たちでつくった看板を畑に立てることで、育てている作物、場所を意識させ、今後の作物の育成意欲を高めたい。看板作りでは、ステンシルを取り入れ生徒の課題である手先を使う作業を行うことで手指の操作性を高める学習にも取り組みたい。

8. 指導観

本学習グループの生徒は、歌が好きなので学習の始まりを意識させ、授業に対しての興味・関心を持たせるため、授業の始まりの歌をみんなで歌うことにしている。看板作りにおいては、ステンシルで使用する棒は生徒が持ちやすい（握りやすいよう）に持ち手の部分を太くするなど工夫をする。また、声を出して発言、選択できる生徒が少ないため、教員が質問する際には、質問内容を2つまたは3つに絞って選択肢を提示し、混乱を防ぐようにする。また、本人の手の動きを尊重するため介助は最低限にとどめるようにしたい。

9. 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・教員の質問に対して声を出したり、手を伸ばしたりするなどして答える。 ・顔を上げて対象物を注視する。	・質問に対し、絵カード、写真を正しく選ぶことができる。	・自ら手を動かし道具を使う。	・野菜が育つと実りがなることを知る。 ・収穫した野菜がどのように使われたか知る。

10. 単元の指導と評価の計画（全7時間）

次	時	学習内容	評価規準			
			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
第一次	1	畑をきれいにしよう			○	
	2	野菜の苗植えよう			○	
第二次	3	野菜を育てよう	○			
	4	現在の畑のようすを知ろう	○	○		○
	5 (本時)	看板を作ろう	○		○	
第三次	6	収穫をしよう			○	
	7	夏野菜カレーを作ろう			○	○

11. 本時の展開

（1） 本時の目標

- ・自ら手を動かしステンシルをすることができる。
- ・対象物を注視し、声を出したり手を伸ばしたりするなどそれぞれの表現方法で答えることができる。

（2） 本時の評価規準

- ・教員の質問に対して声を出したり手を伸ばしたりするなどして答える。（関心・意欲・態度）
- ・自ら手を動かし道具を使う。（技能）

（3） 本時で扱う教材・教具

- ・テレビ
- ・パソコン
- ・ステンシル
- ・絵の具
- ・写真カード

（4） 児童生徒の実態と本時の目標 略

(5) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援のてだて等	評価規準
5分 導 入	・はじまりのあいさつをする。 ・「はじまりの歌」を演奏する。 ・本時の説明を聞く。	・一緒に楽器を演奏することで楽しい雰囲気をつくる。	
25分 展 開	・畑の写真を見てどこに何の野菜が埋まっているのかわかりにくいことに気づく。 ・育てている野菜をカードの中から選択する。 ・作成する看板の野菜を選択する。 ・ステンシルを使って看板を製作する。	・畑の写真をテレビの画面に映し、どこになにが埋まっているのかわからないことに気づかせ、看板が必要なことを説明する。 ・畑に植えた野菜を写真カードで選択させる。カードを選択しやすいよう生徒の目の前にカードを提示する。 ・写真カードから作成したい看板の野菜を選択させる。 ・ステンシルする際本人の手の動きを尊重するため、介助は最低限にする。	・教員の質問に対して声を出したり手を伸ばしたりするなどして答える。(関心・意欲・態度) ・自ら手を動かし道具を使う。(技能)
10分 ま と め	・作成した看板を発表する。 ・次回の授業内容を聞く。	・みんなの前で作成したものを発表させ達成感を感じさせる。	

(6) 教室配置等 略

*備考

◇当該教科・領域の年間指導計画 略